

指定管理者評価結果について

1. 年次評価(所見評価)

施設種別	施設名	頁
①スポーツ施設	大分県リバーパーク犬飼	1
	大分スポーツ公園、高尾山自然公園、大分県立武道スポーツセンター	1
	大洲総合運動公園、大分県立フェンシング場	2
	大分県立庄内屋内競技場	2
②農林業振興施設	大分農業文化公園、大分県都市農村交流研修館	3
	大分県林業研修所	3
③港湾施設・公営住宅	別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地	4
	大分港大在コンテナターミナル	4
	別府港北浜ヨットハーバー	4
④文化・コンベンション施設	大分県立総合文化センター、大分県立美術館	5
	大分県立別府コンベンションセンター	5
⑤社会福祉施設	大分県社会福祉介護研修センター	6
	大分県母子・父子福祉センター	7
	大分県聴覚障害者センター	7
	大分県身体障害者福祉センター	7
⑥レクリエーション施設	大分県長者原園地	8
	おおいた動物愛護センタードッグラン・多目的広場	8
	大分県青少年の森、大分県平成森林公園、大分県神角寺展望の丘	9
	ハーモニーパーク	9

2. 総括評価(5段階評価)

施設種別	施設名	頁
③港湾施設・公営住宅	県営住宅等	10

令和3年度 指定管理者の管理運営に対する指定管理者評価部会の評価

1 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
① スポーツ 施設	大分県リバーパーク犬飼 (R2.4.1～R5.3.31)	土木建築部	(株)Goap	<p>【評価】</p> <p>1. 指定管理者が新しくなり、施設の整備・ネット予約の開始・営業活動等により、利用者が大幅に増えた点は評価できる。 一方で、利用者が増えたことに伴い、グラウンド芝の管理がうまくいっていない点については改善策を検討する必要がある。</p> <p>【意見】</p> <p>1. グラウンド芝の管理が適切に行えているか。グラウンドの使いすぎが原因なら使用をやめさせて養生をした方がいいのではないか。 2. アンケートは経年比較を行い、現状が良くなっているのか、悪くなっているのかを分析し、改善に活かして欲しい。 3. 川を使ったアクティビティの拡充は、地元と連携しているようなので、引き続き進めてもらいたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 芝が荒れているにもかかわらず所管課評価が高すぎるのではないかと。 2. 芝管理のために必要な機械があるのなら、県の方で用意するべきではないかと。 3. 芝の状況によっては、指定管理者とも協議を行い、グラウンドの使用禁止の判断を行うべきではないかと。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 昨年度末からの芝の傷みについてはより多くの方々に利用していただく目的で利用人数の上限を見極めるため、専門業者の意見を聞きながら実験的に運営した結果である。昨年度の結果を踏まえ、必要に応じて養生期間を設定するなどの対応をしたい。 2. これまでは時期を限定してアンケート調査を行っていた。今後はアンケート調査の頻度を増やし、結果を比較して改善に活かしたい。 3. アクティビティの拡充について、引き続き市などと連携をしていきたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 芝の傷みは、現在の目標人数よりも多くの方々に利用していただく可能性を探るため、専門業者の意見を聞きながら運営をした結果であり、積極的なチャレンジと捉えている。利便性向上のためのキャッシュレス化、ネット予約システムの導入など様々な積極的な取組を行ったことなどを併せて評価している。 2. 芝の維持・管理に必要な芝刈機や集草機などの導入・更新は県が行っている。全自動芝刈機については、さらなる芝の品質の向上、経費節減などの効果をみるために指定管理者が試験的に使用したものであるため、結果に基づき県による導入を検討していきたい。 3. 指定管理者、専門業者と協議しながら、利用者の意向も踏まえ検討していきたい。</p>
	大分スポーツ公園 高尾山自然公園 大分県立武道スポーツセンター (H31.4.1～R6.3.31)	土木建築部	(株)大宣	<p>【評価】</p> <p>1. 感染症対策を徹底して行っている点は高く評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 高尾山自然公園は都市型公園という性格を考えると、駐車場等に防犯カメラを取り付けるべきではないかと。 2. 高尾山自然公園の利用者を増やすため、周遊マップチラシを教育機関・福祉施設などに配布してはどうか。 3. 展望台は南側が見えない状態なので、伐採をした方がよい。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 高尾山自然公園は、スポーツ公園・武道スポーツセンターとは性格を異にする施設なので指定管理者の管理負担を軽減した方がよい。特にキャンプ場は夜間管理が難しい。警備会社による夜間見回りが必要。現況のキャンプ場は、整備が行き届いておらず、荒れ地がむき出しになっている。キャンプ場の廃止を検討してはどうか。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 防犯カメラの設置については必要性を感じているため、少しずつ設置できるよう努めていきたい。 2. 近隣の高校、市内小中学校、児童福祉施設に、スポーツ公園と高尾山自然公園の情報を掲載した情報マップを配布し、遠足・行事をはじめ幅広く利用いただけるよう、広報・周知を図ってきたい。 3. 以前、東側の一部伐採を行い一定の効果が見られたため、南側の伐採も望まれるが、規模が大きく経費の問題もあるため、県と指定管理者で連携しながら進めていきたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. キャンプ場は無料で利用でき、デイキャンプやバーベキュー利用のほか、ボーイスカウトの活動やNPO法人が主催する子ども食堂の会場に利用されるなど、多くの方に利用いただいている。安心・安全な利用のため必要な整備を行い、今後もキャンプ場を存続させていきたい。</p>

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
① スポーツ 施設	大洲総合運動公園 大分県立フェンシング場 (R2.4.1～R5.3.31)	土木建築部 教育庁	ファビルス・ プランニング 大分共同事 業体	<p>【評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症対策を徹底して行っている点は高く評価できる。 2. 管理運営について、制約がある中でも出来ることはすぐに改善されている点は高く評価できる。 <p>【意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スタジアムは更衣室から球場までのルートの溝が土で埋まっていたり、更衣室を含めて少し汚い印象を受けたので改善してもらいたい。 <p>【施設所管課に対する意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設の空きスペースを活用して、アーバンスポーツ施設（BMX、スケートボード）の導入を検討してはどうか。 <p>【対応案】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 土が溜らないように、溝の清掃を定期的に行う。また、更衣室の利用マナーを守って頂くよう、利用者に呼びかけを行う。 <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安心・安全が確保できる空きスペースが限られている状況であるので、利用者のニーズ調査や他県の状況把握を行い、その結果を踏まえて施設が設置できるかどうか検討していきたい。
	大分県立庄内屋内競技場 (H31.4.1～R6.3.31)	教育庁	由布市	<p>【評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ライフル射撃をメインとした施設利用では、利用者数は増えないため、ライフル射撃以外の利用についても検討していいのではないかと。 <p>【意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アーバンスポーツやドローンなど施設の新しい利用について検討をするべき。 2. ライフル協会の利用と他の施設利用の競合については、スケジューリングを工夫すれば解決できるのではないかと。 3. 隣接する他のスポーツ施設と連携しながら活用する方策を考えてみて欲しい。 <p>【施設所管課に対する意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者数を増やすために、ライフル競技以外の利用についても検討するべき。 <p>【対応案】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現状の利用方法に限らず、アーバンスポーツなど多目的に利用できる施設となるよう検討していきたい。 また、現状の利用方法についても、関係者にて構成する運営委員会で各競技団体の意見を聴き、改善案をもとに対応することで、利用者数の増加に努めたい。 2. ライフル射撃協会の年間行事予定を共有することで、別の利用者が利用できるようライフル射撃協会と調整していきたい。 3. 屋外テニスコート利用者の雨天時利用や高校野球部の雨天時練習場所などとして利用できるか検討していきたい。 <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アーバンスポーツ等の新たな利用について、関係各課等と協議し、検討していきたい。

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
② 農林業 振興施設	大分農業文化公園 大分県都市農村交流研修館 (R3.4.1～R8.3.31)	農林水産部	(公社)大分 県農業農村 振興公社	<p>【評価】</p> <p>1. 指定管理施設の中で一番改善度合いが高く、頑張っている施設といえる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 物産館内は客の動線が悪く照明も暗い。奥の建物に呼び込めるようなレイアウトになっていない。コンサルを入れた方がいいのではないか。</p> <p>2. 昆虫館にミニ動物園を持ってきたり、遊具の充実など検討してはどうか。</p> <p>3. キャンプ場に防犯カメラを設置するなどもう少し防犯にお金をかけた方がよいのではないか。</p> <p>4. 施設が大きくて空調が効きづらい構造がある。個室のような仕切りを作る、レイアウトの変更などで光熱費を抑える方法を建築士等の意見を聞きながら検討してはどうか。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 水道光熱費の節減について、ソーラーパネルの設置など自家発電について検討するべき。脱二酸化炭素運動の象徴とすればよい。</p> <p>2. レストラン館は取り壊した方がいいのではないか。</p> <p>3. 多くの設備が老朽化しているので、数年先まで見通した形で、先手先手の修繕を計画的にしていきたい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 空間デザインに長けた専門家やコンサルに助言をしてもらう機会を設けるなどして、動線やレイアウトの変更を前向きに検討する。</p> <p>2. ミニ動物園の移設等や遊具の充実は、利用者目線で前向きに継続検討していきたい。</p> <p>3. 現状、防犯面については夜間警備を行っているが、防犯カメラの設置なども前向きに検討したい。</p> <p>4. 光熱水費削減の節減に向けて契約の見直し等を行っているが、レイアウト上の課題については、専門家の意見を聞きながら検討していく。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 光熱水費の節減に向けて、既契約会社以外とも協議を進めている。ソーラーパネルの設置についても、実現可能性等検討したい。</p> <p>2. レストラン館は所有者である2市と協議を続けていく。</p> <p>3. 予防保全ができるものについては、優先順位をつけながら計画的な修繕を行っていく。</p>
	大分県林業研修所 (R3.4.1～R8.3.31)	農林水産部	(公財)森林 ネットおおい た	<p>【評価】</p> <p>1. コロナ禍の中で、オンライン研修などの新たな取組の導入を検討するべき。</p> <p>【意見】</p> <p>1. オンライン（有料もあり）とリアルを併用した研修を検討してはどうか。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 若い従事者を増やしていくためにも、プロモーションビデオを作成し、どんな研修をやっているかなどをPRしてはどうか。</p> <p>2. 林業アカデミーは新規就業者確保のために非常に重要な事業なので、更に力を入れていただきたい。</p> <p>3. 林業事業体のニーズだけではなく、若い受講生、これから従事してくれる人のニーズに合った研修を考えてもいいのではないか。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. オンライン研修の可能性について、技術資格研修の根拠法令を所管する大分労働局と協議を行う。なお、実技は安全作業等の指導が必須であることから通所が必要であり、これとセットになる座学のみをオンライン化することは受講者の負担増になる可能性もあるため、受講者アンケート等による要望把握を行い、検討したい。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 県では林業就業体験ツアー動画の作成や、教育関係者と連携した高校生等への林業教育など、若年層の新規就業に繋げるための取組を行っている。また、新規就業者向け研修は林業アカデミーで行っており、オープンキャンパス等により内容周知を行っている。なお、林業研修所の研修は、すでに林業に従事している者を対象としたスキルアップが主体であることから、林業事業体等への周知を行っている。</p> <p>2. 林業アカデミーへの支援を継続するとともに、林業事業体が求める人材育成につながるようニーズの把握に努めたい。</p> <p>3. 若い受講生や林業アカデミー生を含め、幅広いニーズに合わせて研修内容を検討する。</p>

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
③ 港湾・公 営住宅	別府港機械管理駐車場・県 営3号上屋・石垣地区緑地 (H31.4.1～R6.3.31)	土木建築部	(株)おおい た観光サー ビス	<p>【評価】</p> <p>1. この施設で指定管理者に期待しているのは、3号上屋を通じて別府の賑わい創出・活性化等である。しかし、数年後の廃止が決まっている中では、単発のイベントをやるしかなく非常に難しい状況にあるといえる。そのような中、eスポーツ開催・ドローンの操縦教室など知恵を絞って考えている点は評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. コロナ禍の中、今年度についてはイベントをやらないという選択肢も検討してはどうか。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 3号上屋の活用について、地元の方々がもっと実際に関わってもらう方法を考えて欲しい。 2. そもそも指定管理が必要な施設なのか。上屋には防犯カメラを設置して業務委託で管理というやり方もあるのではないか。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. イベント主催者からの要望もあることから、感染状況や国からの通知を参考にして、イベントごとに開催可否を検討していきたい。 なお、イベント開催に当たっては、感染症対策を徹底していきます。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 地元の方々が参加できる木育イベント等を開催し、イベント参加者が作成した作品を一定期間提示することなどにより、港湾エリアでのイベントに対し、愛着や興味を持つような仕組み作りを考えていきたい。 2. にぎわいづくりのための新規イベントの誘致など、民間のノウハウが必要なため指定管理は継続していきたい。今後、別府港再編計画の進展により、県営3号上屋を撤去したときは、残りの施設について、業務委託での管理を検討していきたい。</p>
	大分港大在コンテナターミナル (H31.4.1～R6.3.31)	土木建築部	(株)大分国 際貿易セン ター	<p>【評価】</p> <p>1. 昨年度までは企業訪問数の伸びに伴い取扱量も増えていたが、コロナの影響で企業訪問数が減ってしまったのは残念。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 貨物の混載の可能性も探っていただきたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. ガントリークレーンは法定の耐用年数を超えて使用するようなら、事故が起こったときに問題になるので、更新について内部でコンセンサスを得ておくべき。 2. 今年は企業訪問数を増やして欲しい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 混載の可能性について、県・船社・関係企業と連携し検討していきたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 老朽化を原因とした事故が起こることのないよう、更新時期については十分に検討していきたい。 2. 港湾課としても、指定管理者や船社など関係企業と連携し、コロナの状況を見極めながら、企業訪問を積極的に行っていただきたい。</p>
	別府港北浜ヨットハーバー (R3.4.1～R8.3.31)	土木建築部	(株)ササキ コーポレー ション	<p>【評価】</p> <p>1. 係船率はほぼ100%を達成し、今は別府の地域振興・観光振興を目標に入れて取り組んでおり、非常に高く評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 星野リゾートなど近隣ホテルとの連携を更に進めていただきたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 現指定管理者は県外でもヨットハーバーを管理運営していて様々な情報を持っているので、うまく連携してもらいたい。 2. 管理事務所を建て替える（ちょっとしたクラブハウスのようなものにした）等、マリーナとしての雰囲気作りを知恵を出し合って検討して欲しい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 指定管理者が行う自主事業であるシーカヤックやウェイクボードなどのマリニアクティビティを宿泊プラン等に取り入れてもらうよう、近隣ホテルに働きかけるなど、連携を深めていきたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. ヨットハーバーとしての管理はもとより、指定管理者の持つノウハウを活用し海洋性レクリエーションの振興を図ることで、県民の海への興味を高めていきたい。 2. 他県のマリーナの状況調査を行うなど、マリーナとしての雰囲気作りを検討していきたい。なお、管理事務所は建築後約10年を経過したところであり、建て替えについては慎重に検討していきたい。</p>

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
④ 文化・コンベンション施設	大分県立総合文化センター 大分県立美術館 (H30.4.1～R5.3.31)	企画振興部	(公財)大分県文化スポーツ振興財団	<p>【評価】</p> <p>1. 美術館のアウトリーチ事業の件数がかかなり増えている点や、経費の低減策として新電力を導入した点は高く評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. センター、美術館のアウトリーチ事業については、コロナが終息しても継続してもらいたい。</p> <p>2. 『五感の翼』があまり伝わってきてない。芸術文化ゾーンと五感の翼を繋げるのは大変な作業だと思うが、頑張ってもらいたい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 今後も、芸術文化に対する県民の理解を深め、裾野を拡大するために、教育機関等と連携し、本物の舞台公演や美術品を鑑賞する機会を提供するため、小学生等へのセンター・美術館への招待事業はもとより、学校現場へのアウトリーチ事業を引き続き展開していく。</p> <p>2. 令和2年度後期から、芸術文化ゾーンのコンセプトワードを「五感の翼」として定めて以来、財団広報誌やPR動画、新聞広告などで周知に努めているが、今後更に各種広報媒体において、「五感の翼」と芸術文化ゾーンを併記するとともに、センター・美術館の共同企画・広報を実施するなど「五感の翼」の周知に努め、更なる芸術文化ゾーンの活性化に取り組んでいく。</p>
	大分県立別府コンベンションセンター (H31.4.1～R6.3.31)	商工観光労働部	ビーコンプラザ共同事業体	<p>【評価】</p> <p>1. コロナの影響により稼働率が低い今だからこそということで、施設の改修をかかなり行っている点は評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. コロナ以前は利用がなかった国家試験や民間資格などに積極的に営業をかけてもらいたい。</p> <p>2. 施設の外観からもeスポーツに向いている施設と言える。コロナ禍だからこそ、通信環境を強化し、eスポーツに力を入れてもいいのではないか。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 国家試験や民間資格などは重要な営業ターゲットになり得ることから、指定管理者である(株)コンベンションリンケージでも全社挙げて誘致活動に取り組んでおり、新たに令和3年は1月と10月の試験会場として利用申し込みがあったところである。</p> <p>2. I S T Sを念頭に既に通信環境の強化に着手しており、11月に工事完了予定となっている。大型e-sportsは、イベント毎に必要な通信環境の要件が異なり、誘致に際しては主催者による現地確認等が必要となるため、工事完了の11月以降、これまで問合せのあった主催者を中心に本施設の通信環境の確認を案内するなど積極的に誘致を進める。</p>

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑤ 社会福祉施設	大分県社会福祉介護研修センター (R3.4.1～R8.3.31)	福祉保健部	(社福)大分県社会福祉協議会	<p>【評価】</p> <p>1. 利用者満足度は非常に高く、4.6/5.0は高く評価できる。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>1. 図書、DVD等の貸出しは、もっと周知されれば利用者が増えるのではないかと。</p> <p>2. YouTube、SNS、TV配信等、メディアにあったターゲット層があるので、それに合わせて内容を少しずつ変えていけば、もう少し伝わりやすいものになると思われるので活用して欲しい。</p> <p>3. 認知症はかなりの家庭で問題になっており、一つのアプローチポイントになるのではないかと。</p> <p>4. コロナの中で、介護ニーズは増えているのはチャンス。Iターン、Jターン等も絡めて取り組んでいくのもよい。</p> <p>5. 広報の充実が必要になってくる。単にチラシを配布みたいな話ではなく、メディアをどれだけ見られているのか、それに対してgoogle formでアンケートしてみるなど、KPIの取り方を工夫して長い目で丁寧に取り組んでほしい。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 介護人材の流入を促していくのなら、福祉・介護事業所従業員や自治体職員ではなくて、目の前にいない人たちがどういう職場で働きたがっているのか、どういうことがあれば介護の現場に来てくれるのかということ把握する必要があるのではないかと。</p> <p>2. 子育てママ、現役の高齢者や障がい者などターゲットを絞って、センターの役割として福祉の仕事・介護の仕事の魅力を発信しながら、人材の確保につなげていく取組があってもよいのではないかと。</p> <p>3. 住宅改造モデル展示場については、在宅介護が増えている中、在宅介護の体験の場として活用してはどうか。見学だけ、見せるだけになっているのが残念。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 研修センターHPの「図書・ビデオ・DVDの貸出」PRページについて、画像を挿入し、分かりやすく発信力ある内容に見直すとともに、研修センター広報誌で図書情報室の特集記事を企画するなど、引き続き、情報提供の強化に取り組みたい。</p> <p>2. 例えばターゲットが、若年層であればSNS、ネット広告、YouTube、就職サイトへの広告、中高年齢・シニア層であれば新聞広告、新聞折込、テレビ、自治会広報紙、子育て世代ではタウン誌、行政広報紙など、年齢や属性を考慮した情報媒体やツールを活用し、伝える内容も工夫することで、より効果的な広報や情報提供に努める。</p> <p>3. 認知症は多くの人にとって身近なものとなっている中、県民の認知症関連研修への関心は高い。認知症の人を地域で支えることができるよう、認知症予防やケア等の研修をこれまで以上に回数を増やし、研修ニーズに応じており、今後、研修のさらなる拡充を図っていくことも検討する。また認知症予防・重度化防止にはリハビリを行うことが重要であり、今年度から、これまでのOT、PTの相談に加え、STの定期的な相談日を設けている。こうした認知症についての知識、技術の普及・啓発を強化することで利用者の増加にもつなげたい。</p> <p>4. 県福岡事務所と連携し福岡県内の大学、専門学校等に在籍する大分県出身の学生に対し、県内での就労を促すため、就職フェアや事業所の求人状況などの情報提供を行っており、フェアへの参加、県内就労に結びついている。今後は県のIターンや移住担当部局とも連携し、学生のみならず、大分県での就労を希望する方々に、介護の仕事の経験あるなしにかかわらず、介護事業所や介護のしごとに関する最新情報を提供することで、多様な人材の参入促進を図りたい。</p> <p>5. これまでもセミナー等の参加者に、どの情報媒体で当該セミナーを知ったかなどのアンケート調査を行い、情報源の把握に努めている。今後も年間利用者数などの目標数値に対する評価指標（閲覧回数、研修参加者数、経費、問合せ数など）を検討しながら、どの情報媒体やツールによる広報が有効であるのか、google formアンケートも活用し、長期的なスパンで検証していく。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 県内の福祉系高校や専門学校等の学生に対して、就労意向調査を実施している。今後も調査結果を踏まえた施策検討や、大分県福祉人材センターやハローワークと情報共有を行いながらより効果的な就労支援や介護の魅力発信に取り組んでいきたい。</p> <p>2. 令和2年度より大分県福祉人材センター機能強化重点事業の一つに「介護・福祉職場の魅力発信」を位置づけ、3か年での事業計画を策定している。今年度は教員や学生の保護者など、学生が進路選択をするうえでキーパーソンとなる方に対して、介護の仕事を理解し、魅力を感じてもらえるよう、介護職員が働く様子やインタビューなどを収録した魅力発信動画の作成を行っている。今後も更なる個別のターゲット層へのアプローチのために、キャリア支援専門員を中心として、高齢者等への就職支援を実施するなど、福祉・介護人材の参入促進に繋がる施策を検討・実施していきたい。</p> <p>3. 体験の場としての活用も含め、指定管理者と連携し、今後の活用方法について「福祉用具専門部会」等で検討していきたい。</p>

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
	大分県母子・父子福祉センター (R3.4.1～R8.3.31)	福祉保健部	(一財)大分県母子寡婦福祉連合会	<p>【評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> ホームページは非常に見やすく、感染症対策についての留意点も最初に掲載しており、評価できる。 新たなICT技術を用いた利用者目線の柔軟な対応で倍増する相談件数に対応しており、評価できる。 <p>【指定管理者に対する意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 相談件数が倍増したことで、職員の負担も増えているのではないのか。ネット上のコミュニケーションは非常に難しい部分もあるので、専門家の研修などによるケアが必要ではないのか。 <p>【対応案】</p> <ol style="list-style-type: none"> 引き続き県民目線での見やすいホームページの更新を心がけ、利用者が安全に施設を使えるように感染症対策の徹底と情報発信を行う。 今後は特に若年層が気軽に相談できるようアンケートや相談状況を分析し、新たなツール使用等も検討していきたい。 <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <ol style="list-style-type: none"> チャットボットの活用により相談受付の軽減を図るとともに、心のケアとして外部のメンタルヘルス研修の利用や、ネットトラブルを起こさないための研修の受講をすすめ、相談支援員のケアに力を入れる。あわせて、各市福祉事務所 に 配属している母子父子自立支援員との交換の場を設け、相談対応の振り返りを行う。
⑤ 社会福祉施設	大分県聴覚障害者センター (R3.4.1～R8.3.31)	福祉保健部	(社福)大分県聴覚障害者協会	<p>【評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> 手話通訳者登録や広報活動など指定管理制度の枠組みの中で、しっかりと対応していることは高く評価できる。 <p>【指定管理者に対する意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 利用者から駐車場スペースの確保についての要望が多いので、社会福祉会館との予めの調整など対応を検討できないか。 新型コロナウイルスの陽性者が発生したときの事業計画などBCPを策定してるか。 高校生と聴覚障がい者の方々との交流はとても良いシーンだった。プレスリリースを行い、こういった行事をもっとメディアに取り上げてもらうべき。 <p>【施設所管課に対する意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 今後の手話通訳士の活用については、施設運営の中ではなく、県としてどうやっていきたいのかを考えるべき。 九州内でも突出して施設利用者数が多いが、延べ人数ではない実員数等を精査し、県としてさらに延ばしていくのかなどの方向性をしっかりと検討しなければならない。 <p>【対応案】</p> <ol style="list-style-type: none"> 総合社会福祉会館を管理する県社会福祉協議会と、駐車場が不足する場合に予め調整できるよう協議する。 新型コロナウイルスの陽性者が発生した場合、タブレット端末を使った遠隔手話通訳を行う体制等を整備しているが、意見を受けてセンターの運営管理に関する事業計画を策定中。 センターの各種行事開催時にはプレスリリースを行っているが、今後も積極的にプレスリリースを行い広報を行ってきたい。 <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <ol style="list-style-type: none"> 手話通訳士については、手話言語条例の策定により、これまで以上に様々な場面でニーズの高まりが想定されることから、引き続き養成とスキルアップを図っていく必要があると考えている。 センター利用者数や県内の聴覚障がい者数の推移等を精査し、施設の設置目的に沿った適切な方向性を検討する。
	大分県身体障害者福祉センター (R3.4.1～R8.3.31)	福祉保健部	(社福)大分県社会福祉協議会	<p>【評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> eスポーツへの新たな取組は、今後の可能性が期待できる。 <p>【指定管理者に対する意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 利用者数はコロナ前から減少傾向にある。利用者満足度は高いので、利用してくれればリピートされる可能性が高いことから、原因を分析し、必要な人にしっかり周知できるようにするべき。 放課後デイサービスとの連携について、もっと強化していくのはどうか。 ホームページに団体利用向けのページを作り、団体の利用例などを掲載してみるのもいいのではないか。 <p>【施設所管課に対する意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> eスポーツなど身近で出来るようなスポーツをまずセンターの方でやってみて、それを県内に普及できるような形でやってもらいたい。センターに行けば、新しい情報が得られたり、新しい取組が体験できるような施設にすべき。 <p>【対応案】</p> <ol style="list-style-type: none"> 様々な媒体を活用するとともに、関係団体を通じ、広報活動を積極的に実施し、施設利用・教室等への参加を促す。また、利用者や関係団体を対象としたアンケートや意見交換等によりニーズ把握やニーズに即した事業の検討等を行い、利用促進を図ってきたい。 放課後等デイサービスとの連携については、利用登録の方法や利用要件の整備などを含め検討する。 ホームページに団体別（競技別）の利用例や貸出用具などを掲載する。 <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <ol style="list-style-type: none"> 今年度から、障がい者や障がい者支援施設等を対象にしたeスポーツ講習会に取り組んでおり、ドローンサッカーの体験を実施している。今後は、eスポーツなどの新たな取組について、施設が発信源となれるよう努めていく。

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑥ レクリ エーショ ン施設	大分県長者原園地 (R3.4.1～R6.3.31)	生活環境部	吉武建設 (株)	<p>【評価】</p> <p>1. 園地の適切な維持管理や駐車場の迷惑使用の巡回、施設の補修などは常にしっかり行えている点は高く評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. キャンプ場は、コロナ禍の中でもR2.8月の利用者数が過去最多だったことは素晴らしい。数あるキャンプ場の中から、なぜ当施設を選んでもらえたかをしっかり分析し、今後の集客に活かしてもらいたい。</p> <p>2. ネットでの情報発信についても、何を見て集客に繋がったかを分析し、情報発信を工夫することで更に利用者が増えるのではないかな。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 当施設を選んだきっかけやニーズなどの分析を行い、今後の対策を検討する。</p> <p>2. 今年5月に始めたWebアンケートでは利用のきっかけとなった情報媒体について回答いただいております、今後、その分析結果を元に、より効果的な情報発信に繋げる。</p>
	おおいた動物愛護センター ドッグラン・多目的広場 (R3.4.1～R8.3.31)	生活環境部	九州乳業 (株)	<p>【評価】</p> <p>1. 利用者数を伸ばすためには、工夫のしどころがどこにあるのかを顧客データの分析などにより検討するべき。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 新規客とリピーターの割合、情報獲得手段など顧客データをしっかり分析し、集客策を工夫するべき。</p> <p>2. SNSによる情報発信が集客に繋がっているのなら、Wi-Fi環境を整備するのよよいのではないかな。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 利用者を増やすために、指定管理者の活動の中身をよく分析し、類似施設や飼い主の状況などから情報収集してはどうか。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 新規とリピーターの割合等の顧客データの分析を行うため、会員番号等から利用状況を分析した上で、集客策を検討する。</p> <p>2. 受付の通信環境の改善を図るとともに、Wi-Fi環境整備について検討する。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 来場者等から情報を収集することで、来場者の地域分布や来場動機などを分析するとともに、指定管理者とそれらを共有しながら、情報の発信の方法を検討する。</p>

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑥ レクリ エーショ ン施設	大分県青少年の森 大分県平成森林公園 大分県神角寺展望の丘 (H31.4.1～R6.3.31)	農林水産部	(公財)森林 ネットおおい た	<p>【評価】</p> <p>1. ホームページのスマホ対応、トイレの洋式化など利用者の意見を取り入れて改善している点は評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 新たな若いファミリー層に来てもらうならターゲットにあったメディアで広報すべき。今まで通り年配層向けなら新聞広告でもよい。先に今後のターゲットを明確にすることが重要。</p> <p>2. ホームページを見ても、ここでは何が出来るのかが分かりにくい。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 人気の高いコテージの増設やツリーハウスの見直し等を行えば稼働率がもっと高くなるのではないかな。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 県民の森は幅広い年齢層をターゲットにしているが、若いファミリー層の取り込みなど、新たな利用者拡大は必要だと考えている。子どもの森林体験プログラムの場としての活用を検討中であり、若い世代への情報発信を強化するため、既存のホームページやFacebookによる情報提供に加え、インスタグラム等の新たな情報発信手段も検討する。今後は、R4将来ビジョン策定にあたり、有識者の意見も取り入れながら、利用者拡大のためターゲットの明確化と効果的な広報手法について検討する。</p> <p>また、R4年度には全国育樹祭が県民の森で開催されることから、育樹祭と連携した広報も強化していく。</p> <p>2. 現在のホームページは、問合せの多いキャンプ場などの有料施設やイベント情報を得やすい形にしているが、それ以外にも、散策道や季節ごとの見所があるため、県民の森での具体的な過ごし方をホームページに掲載したい(R3年10月中)。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 現在は、施設の老朽化等を指摘する利用者の声が多いことから、既存施設の改修を優先して行っている。稼働率が高いコテージの増設や、近年増加している持ち込みテント用フリーテントサイトの造成等、稼働率を上げるための施設整備についても、R4将来ビジョン策定の中で有識者の意見を取り入れ検討したい。</p> <p>また、将来ビジョン策定にあたっては、充実した大分県の森林資源を生かし、森林林業教育の場としての活用や全国育樹祭会場の活用についても検討していく。</p>
	ハーモニーパーク (R3.4.1～R8.3.31)	土木建築部	(株)サンリオ エンターテイ メント	<p>【評価】</p> <p>1. アンケート回収率が3割から7割に向上している点は高く評価できる。</p> <p>【指定管理者に対する意見】</p> <p>1. フェスティバルステージ改修後はどのように有効活用するのかを、広報の工夫とともにしっかりと検討してもらいたい。</p> <p>2. 竹林の管理を自前でやっているが、目先の経費削減だけでなく、効率性・安全性などをトータルで考慮して検証してみてもいいのではないかな。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. コロナの影響ではあるが、県駐車場の利用が92%もダウンしたのは違和感がある。目先の数字だけでなく、現場でどんな苦勞をされているか、それに対してどのように評価をしているかなどを反映させた方がいいのではないかな。</p> <p>2. 経費削減についても、削減効果やコロナの影響など不可抗力による削減がどれだけかなどの分析がもう少し必要ではないかな。</p> <p>3. 実証展示林は、ベンチャー企業だけに頼るのではなく、竹芸・造園業などとの連携や竹を使いたい人を公募するなど検討してみてはどうか。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 毎年実施している県北幼稚園合同イベント等をベースに、新たにSDGsに関連したイベントを開催し年間の使用実績を増加させたい。また、現在と異なるイベントの開催についても協議中である。広報は、SNSを中心に活動を行っていききたい。</p> <p>2. 昨年度は、竹の成長期（春）に臨時休園、全社員自宅待機という特殊状況があり、その間に竹林が成長したため、伐採が大変な作業となった。しかし、今年度は（適期に）安全に竹林伐採を行うことができ、また外部委託するより自前で伐採の方が効率的であるため、引き続き自前で伐採していききたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. コロナ禍で多くのイベント・ショーが中止となった中、園内の防疫体制を確立したことや広報活動の一環としてテレビ番組（ファンファンキティ）の公開収録を行ったこと等を指定管理者が創意工夫したものと評価に反映させるようにしたい。</p> <p>2. 指定管理者の自己努力による経費の削減に加え、コロナ禍などの不可抗力による影響をさらに精査し、どの程度経費の削減につながったのかを分析していききたい。</p> <p>3. 大分大学のベンチャー企業だけでなく、民間研究所、竹藝家、造園竹材家等から実証展示林の活用方法について様々な提案を受けており、協議を進めていく中で公募について検討していききたい。</p>

2 総括評価(5段階評価(指定期間最終年度))

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク	
				評価段階	目標指標等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等連携			平等利用 安全・危機管理
				所管課評価	部会評価	評価結果及び指定管理者評価部会の意見						
③ 港湾・公 営住宅	県営住宅等 (H29.4.1～R4.3.31)	土木建築部	大分県住宅 供給公社	所管課評価	20/20	16/20	12/20	10/10	12/15	12/15	82	B
				部会評価	20/20	16/20	12/20	8/10	12/15	12/15	80	B
				【評価】 1. 会社の特性を活かしながら、家賃の収納率の向上の取組などよく努力されている点は評価できる。 【意見】 1. 入居率向上のため、高齢者世帯にエアコンを取付けてあげるなどできないか。 【施設所管課に対する意見】 1. 収納率だけでなく、入居率を目標指標に入れられないか。改修工事以外でも入居率を上げるための取組を検討するべき。 【対応案】 1. 県営住宅の入居世帯のうち高齢者世帯の占める割合が6割を超える状況にあり、高齢者ニーズの多い低層階（1F・2F）の入居率は中層階（3F～5F）に比べて高い水準にある。そのため、入居率の向上にあたっては、まずは中層階への対策を検討していきたい。 なお、エアコンの設置については、他県での設置事例もなく、入居率の向上に資するかどうか検討が必要と考える。 【施設所管課に対する意見対応案】 1. 入居率を目標指標とするにあたっては、全体入居率には将来的に用途廃止を予定している住宅も含まれているため、給湯器が設置されているなど、一定の設備が整っている住戸を対象として指標を設定することとしたい。併せて、設備の整っていない老朽化した住宅については、建替による集約化や用途廃止を行っていくなど、管理戸数の適正化を進めていく。 また、入居率が低い中層階への対策として、若年単身者の入居要件緩和などを検討していく。								